

報道資料

令和4年7月12日

1 件名	<small>すおうのじゆせんしあと</small> 史跡周防鑄銭司跡から出土した新たな銭種「饒益神宝」の <small>いそんじせん</small> 鑄損じ銭の特別公開及び説明板の設置について
2 日時	公開期間：令和4年7月15日（金）～令和4年8月31日（水） 開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで） 休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日） 入館料：110円（18歳以下・70歳以上の方・障害のある方及びその付添の方は無料） 説明板設置日：令和4年7月15日（金）
3 場所	特別公開：鑄銭司郷土館（山口市鑄銭司11422番地） 説明板設置：史跡周防鑄銭司跡（別紙参照）
4 内容	<p>【特別公開】 <small>すおうのじゆせんし</small> 周防鑄銭司は平安時代に設置された官営の銭貨鑄造機関で、これまでの発掘調査成果から、銭貨を鑄造した工房の一端が徐々に明らかになっています。</p> <p>本特別公開では、<small>すおうのじゆせんしあと</small> 史跡周防鑄銭司跡の発掘調査で日本で初めて発見された、新たな銭種<small>にょうやくしんぼう</small>「饒益神宝」の鑄損じ銭について紹介します。また、奈良時代から平安時代にかけて日本で生産された銭貨を<small>こうちやうじゆうにせん</small>皇朝十二銭と呼びますが、そのうちこれまでの調査で出土した3種（<small>じやうわしやうぼう</small>承和昌宝・<small>ちやうねんたいぼう</small>長年大宝・饒益神宝）の鑄損じ銭を一堂に展示します。</p> <p>◎下記の日程で、報道関係者向けに担当者が展示解説いたしますので、この機会に取材をお願いします。</p> <p>日時：令和4年7月15日（金） 10時から30分程度 場所：鑄銭司郷土館</p> <p>【説明板設置】 史跡東南部における近年の発掘調査において、銭貨鑄造工房と考えられる建物跡や鑄損じ銭が出土し、周防鑄銭司の鑄銭工房の一端が明らかになってきています。そこで、最新の調査成果を解説する説明板を史跡東南部に設置します。</p> <p>※見学にあたっては、以下の点に御注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車でお越しの場合は積水ハウス山口工場の通路を通行しますので、場内の通行ルールに従ってください。交通安全には十分御留意ください。 ・車は、史跡内の史跡説明板の付近にお停めください。（別紙参照） ・史跡内にトイレはありません。
5 問い合わせ	山口市教育委員会 文化財保護課（担当：増野・丸尾） TEL 083-920-4111

饒益神宝 特別公開

周防鑄銭司すおうのじゆせんしは古代日本の銭貨生産を担った官営の銭貨鑄造機関で、

これまでの発掘調査成果から、銭貨を鑄造した工房の一端が徐々に明らかとなってきました。

本特別公開は、史跡周防鑄銭司跡しせきすおうのじゆせんしあとの発掘調査で日本で初めて発見された、

新たな銭種「饒益神宝」の鑄損じ銭について紹介します。

また、これまでの調査で発見されていた「承和昌宝」、「長年大宝」の鑄損じ銭もあわせて展示します。

饒益神宝

にようやくしんぽう

承和昌宝

じやうわしやうほう

長年大宝

ちやうねんたいほう

2022

7/15 (金)

8/31 (水)

鑄銭司郷土館

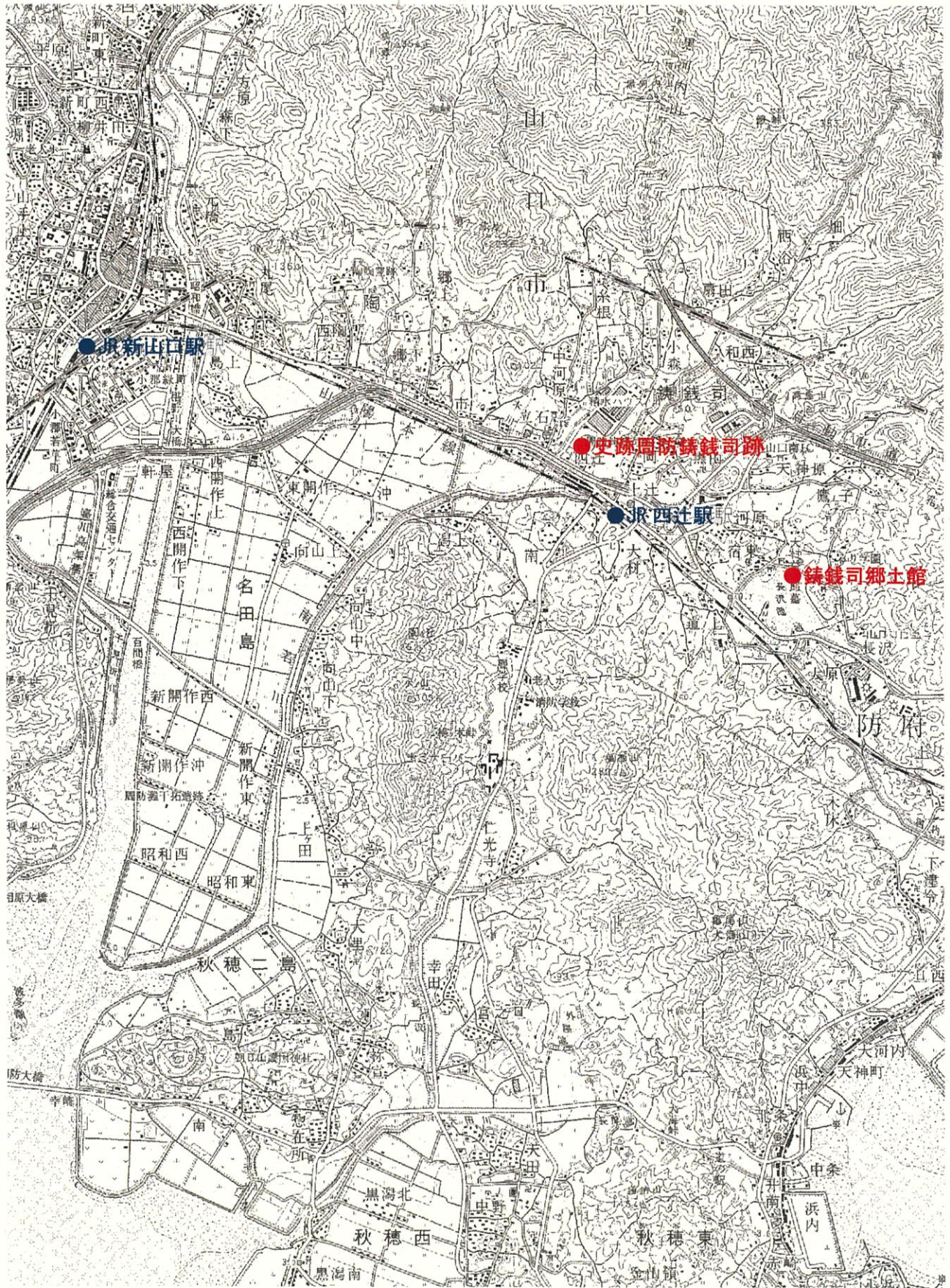
〒747-1221 山口市鑄銭司 11422 番地

TEL・FAX : 083-986-2368

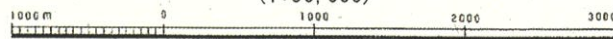
〈開館時間〉9:00 ~ 17:00 (入場は16:30まで) 〈休館日〉月曜日 (祝日の場合は翌平日)

〈観覧料〉110円 ※20名以上の団体の場合、団体割引あり ※18歳以下、70歳以上の方、障がいのある方及び同行の介助者は無料

位置図



(1:50,000)



史跡周防鑄錢司跡 説明板設置位置図

